

さくら新聞

社会福祉法人
清風会
特別養護
老人ホーム
東かなまち桜園
〒125-0041
東京都葛飾区
東金町
2丁目13番10号
03-5876-5281

2026年
7月1日
第133号



スタッフ紹介

5階の赤ユニットの 菅間美里 介護職員を紹介します。

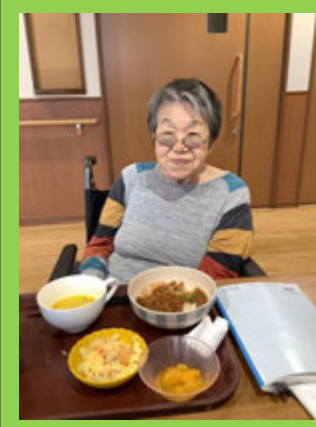
六月の桜園



六月梅雨の季節雨がしとしと降り、紫陽花がとても綺麗に咲いています。湿度が高く体調を崩しやすい時期ですが、快適に過ごして頂けるようサポートを心がけております。施設内ではユニットレクを行い、実習生と共におやつを作り、職員が心を込めて作ったカボチャスープをお昼に召し上がって頂きました。皆様とても喜ばれ、笑顔いっぱいでした。これからも楽しんで頂けるレクを企画したいと思っております。(長瀬)



4-1 4-4 ユニットレク行事
実習生が作り利用者様が美味しく召し上がっています。



係長の眼



去年の今頃はすでに猛烈な暑さを桜新聞で愚痴っていた記憶がありますが、この記事を書いている七月初旬は梅雨らしい気候となっています。こんにちは、山田です。暑熱順化対策と言いつつランニングしていたら驚くほど日に焼きました。日焼け止めの概念を疑います。

さて冒頭のランニング、走る為に私は毎回家から外に出ます。色々な所を一時間程走り必ず自宅に帰ります。「何を言っているんだ」という話ですが、これをテリトリーとプライバシーの概念で考えると「家」という一次的テリトリーを持つているから、そこから出て「玄関前のエリア」という二次的テリトリーでストレッチを行い「公園や河川敷」等誰でも使える公共的テリトリーで走る事が出来ます。このテリトリー変化を楽しめるのも「家」という一次的テリトリーに心理的重要性、プライバシーが確保されているから。一次的個人領域が確立されている安心感が「外に出よう」というポジティブな気持ちを引き出してくれます。

ユニットケアに限らず、施設入所はこの一次的テリトリーを喪失した人が、一次的テリトリーを再構築するプロセスです。自分だけの安心できる居場所があつてはじめて人は、居場所から一歩外に出ようと思える。桜園と言うと居室からリビングへ、リビングから隣のユニットへ、という順番になります。(山田)

スタッフ紹介

5階の赤ユニットの 菅間美里 介護職員を紹介します。

○ 仕事で印象に残っている出来事は？

日々、色々な出来事がある中で、職員の方々の対応力です。毎日が印象的です。

○ 仕事のモチベーションとなっているのは？

入居者様のふと見せる笑顔や、入居者様からの「ありがとう」の感謝の言葉です。

○ 仕事の疲れを癒すのは？

愛犬とのふれあいです。



○ とっておきのリラックス方法は？

温泉旅行や観光名所に行くことです。

○ お休みの日は何をしていますか？

姪っ子たちと遊んだり、ショッピングに出かけたり。

○ 好きな食べ物、飲み物を教えてください。

麺類、辛いもの、ジンジャーエール、コーヒー。



いつも明るい笑顔で入居者様に接している 菅間さん
これからもがんばって下さい。

先月のご馳走

【六月・三重県の郷土料理】



わかめご飯・魚のじふ（魚のすき焼き）鯖を使用。あいませ・梅ゼリー。三重県は、良質な若布が育ち、梅の生産が盛んで、名所も数多くあるそうです。あいませは、それぞれ（人参や蓮根・大根等）別々に煮て味付けし、混ぜ合わせる事から「あいませ」と呼ばれています。

栄養士・日下

ケアマネ便り

七月になりました。七月と言えば「七夕」ですね。七月七日は、ほとんどのところまだ梅雨の真っ最中です。空は雨がどんよりした曇り空の日が多いです。せつかくの天の川も見られない年が多いです。

さて、七夕の行事食は、夏の定番メニューそうめんですね。白いそうめんにかつての織り姫のために供えられたという、五色の糸に見立てた五色の具を添えます。そうめんは天の川、また織り姫が紡ぐ糸をあらわすとも言われています。桜園でも七月七日はそうめんを食べたり、短冊に願い事を書いて笹竹にさげて七夕を楽しんでもらいました。

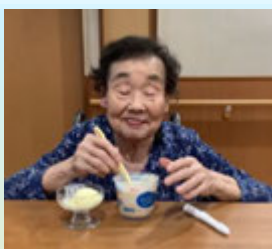
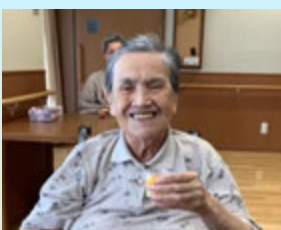
（介護支援専門員・滝澤）

5階1丁目 6月ベトナムスイーツを味わおう



五階一丁目の六月イベントは、ベトナムスイーツを作りました。入居者様と協力して、美味しいスイーツが完成しました。スイーツを召し上がられた皆様から「美味しい」とお言葉と笑顔をいただきました。

3階2丁目 おやつレク



手作りのゼリーとパンケーキ。笑顔が見られて嬉しいです。



機能訓練指導員より



移乗介助でのリフトの活用に取り組んでいます。拘縮の強い方、立ち上がりが困難な方の移乗介助が入居者様、職員双方の心身への負担少なくできることを実感しています。リフトで介助を受けている入居者様の表情にも安心感があります。また、以前に購入した個別浴槽で使用できるリフトも活用しています。多くの職員がリフトの安全な操作方法を習得し、桜園で活用できるよう取り組んでいます。

（伊藤）

ショートの様子

ジメジメした暑さに負けないうよう、体操に取り組んでいます！

